

女声合唱組曲「何^{なに}気ない日々」より 「暈」の制作について

安 村 好 弘

この仏教讃歌「暈」は、山崎澍朗氏作詞の詩「何^{なに}気ない日々」よりの一編です。現在、歌い継がれている仏教讃歌・仏教聖歌は数多く残っています。

私は、これまで数多くの仏教音楽に触れてきました。その中で現代に相応しい、今後も歌いつがれていくことができる讃歌の作曲に挑戦してみました。

曲は、自由な形式で詩の特徴を生かした、女声二部で構成しています。今後、この作品が歌われ続けていくことを願っています。

女声合唱組曲「何気ない日々」より

「畳」(1996)

山崎澍朗 作詞

安村好弘 作曲

Moderato

Soprano

Alto

Piano

f

rit.

a tempo *mf*

えんがわ に たたみを いちまい し い て

mf

えんがわ に たたみを いちまい し い て

mf

4

ひだまりのなか としおいた ひ と は

ひだまりのなか としおいた ひ と は

7

f い つ も い つ も *mf* つくろいもの を

f い つ も い つ も *mf* つくろいもの を

10

f *mf*
 して いた こんにちは きまっ て だ れ か が
f *mf*
 して いた こんにちは きまっ て だ れ か が

13

おとずれて うれしそう に おちやをいれるて
 おとずれて うれしそう に おちやをいれるて

16

cresc.

に きん の いちよう が ま い お ち

cresc.

に きん の いちよう が ま い お ち

cresc.

19

mf

る じゅう ね ん

mf

る じゅう ね ん

f *rit.* *decresc.* *mf*

22

いち じつ はれたひのごこの

25

なら わし ゆう ひが

28

にしのかなたを まっ かに そめた

にしのかなたを まっ かに そめた

31

cresc.

あきのひととき そのひとは いちじょうの

cresc.

あきのひととき そのひとは いちじょうの

cresc.

34

decresc.

た た み の う え で す わ っ た ま ま ね む る よ う に

decresc.

た た み の う え で す わ っ た ま ま ね む る よ う に

decresc.

37

た び だ ち ま し た

た び だ ち ま し た

f

40

43

mf

うしなわれた えんがわの たた みと

mf

うしなわれた えんがわの たた みと

mf

46

うしなわれた ひだまりの う た

うしなわれた ひだまりの う た

49

畳

山崎 澍朗 作詞

縁側に畳を一枚敷いて

日だまりの中

年老いた女は

いつも繕いものをしていた。

「こんにちは」

きまって誰かが訪れて

うれしそうにお茶をいれる手に

黄金色のいちょうが

舞い落ちる。

じゅうねんいちじつ
十一年一日

晴れた日の午後のならわし。

夕日が

西の彼方を真紅に染めた

秋のひとつき

その女は

いちじょう
一畳の畳の上で

座ったまま

眠るように旅立ちました。

失われた縁側の畳と

失われた日だまりのうた。